

## 【授業科目】 特別研究 I (母子支援看護学：母性)

## Master's Thesis I

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
二村 良子	1 年次 後 期	選 択	2	6 0	演 習	巻末 掲載
授業概要 (内容と進 め方) 及び 課題に対 するフィードバック 方法	母性看護学の対象における特定課題を抽出し、文献検索、クリティックを実施する。さらに、実践可能なケアの開発をめざし文献、事例を分析する。そこから、個々の研究課題を明確にし、課題を解決するための研究デザインを考える。研究の目的、方法を検討し、研究計画書を企画する。 授業は、実務家教員（二村）が進める。  課題に対するフィードバック方法／それぞれの課題について討議しコメントする。					
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー①③④の達成に寄与している。					
到達目標 (履修者が 到達すべき 目標)	1. 文献検索・文献検討を行い、研究課題を発見し明確化できる。 2. 探求したい研究課題に関して、研究デザインを明確化できる。 3. 研究課題を解明するため適切な研究方法を選択し、倫理的配慮を含めた研究計画書を企画できる。					
時間外学習 に必要な 内容・時間	研究テーマに関連する国内外の文献を幅広く検索し、文献検討を行い研究計画書の作成に臨む（各授業の準備、授業後のまとめとして授業前後でそれぞれ2時間）。  ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回）（1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回）（1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。					
授業計画	1～10 母性看護学における関心をもっている課題の文献の批判的検討  11～15 研究課題の検討 探究したい問いや現象が研究課題となりうるのかの検討  16～25 研究方法の検討 1) 探究したい研究デザインについての検討 2) 探究したい現象についてのデータ収集方法の検討 3) 探究したい現象についての研究での倫理的配慮の検討 4) 探究したい現象の具体的なデータ収集方法の検討 (質問項目作成、インタビューガイド作成など)  26～30 研究計画書の企画 1) 研究課題・研究背景(先行研究・文献検討、研究枠組み等) 2) 研究の目的・意義 3) 研究方法/研究デザイン・データ収集の方法・期間・データ分析の方法 4) 安全性の確保(予想される有害現象と対策) 人権・プライバシー保護に関する配慮					全て 二村
評価方法 評価基準	演習における積極性および課題取り組み状況などを踏まえ、研究計画書を総合評価する。					
教科書	なし		参考書等	配付資料 参考文献についてはその都度提示する。		